

売上把握の工夫例

売上把握の工夫例

- 費用をかけることなく工夫することで、個店を特定することなく、商店街内の各店舗の売上を集計することができます。活用可能な工夫をまとめました。

工夫例	投票箱	調整さん	Googleフォーム	共有サーバー
概要	<ul style="list-style-type: none">投票箱を設置し、売上記載した無記名投票を実施。	<ul style="list-style-type: none">ネット上の無料日程調整サイトを活用。	<ul style="list-style-type: none">ネット上の無料投票フォームを活用。	<ul style="list-style-type: none">ネット上の無料共有サーバーを活用。
メリット	<ul style="list-style-type: none">投票数によって店舗数の把握が可能	<ul style="list-style-type: none">会員登録が不要スマホ、ガラケー、パソコンが対応回答をエクセル（csvファイル）で出力でき、手作業での集計不要	<ul style="list-style-type: none">投票数によって店舗数の把握が可能投票結果はスプレッドシート（エクセル）で自動集計	<ul style="list-style-type: none">入力された売上の個数により、報告した店舗数の把握が可能集計作業はエクセルで可能。
デメリット	<ul style="list-style-type: none">投票が手作業集計が手作業	<ul style="list-style-type: none">匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能	<ul style="list-style-type: none">誰が投票したのか、誰が未投票なのかわからないGoogleアカウントが必要	<ul style="list-style-type: none">匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能誰が入力したのか、誰が未入力なのかわからない

※上記に限定されることなく、工夫次第でさまざまなツールの活用が考えられます。

工夫例① 無記名投票

- 投票箱を設置し、各店舗から売上のみを記載した紙を投票していただき、その数値を合計することで、商店街の売上高を把握する。投票した際に店舗リストにチェックしていただくことで、回答店舗数の把握が可能。

✓ メリット

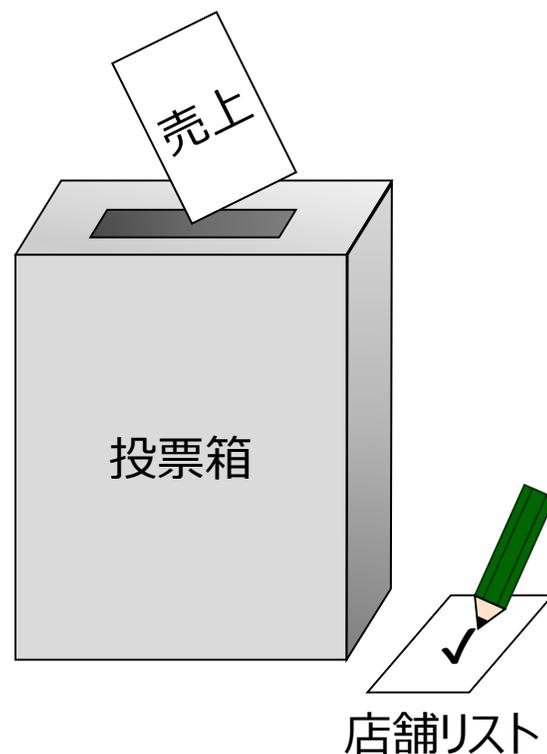
- ・個店名を特定する必要が無い
- ・投票数によって店舗数の把握が可能

✓ デメリット

- ・投票が手作業
- ・集計が手作業

✓ 使い方

- ・投票箱を作成
- ・各店舗に紙を配布し、投票を依頼
- ・投票と同時に、店舗リストの投票済欄にチェックを記入
- ・集まった票を集計し、商店街の売上を把握



工夫例② 「調整さん」の活用

- 調整さんを活用し、各店舗からコメント欄に売上を入力いただくことで、スマホ等で売上の把握が可能。回答した際に、別途回答した旨をメールいただくことで、回答店舗数の把握が可能。

✓ メリット

- ・個店名を特定する必要が無い
- ・会員登録が不要
- ・スマホ、ガラケー、パソコンが対応
- ・回答日時が残らないので、匿名性が高い
- ・回答をエクセル（csvファイル）で出力でき、手作業での集計不要（※会員登録しない場合、キャッシュが切れると出力不可）

✓ デメリット

- ・匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能

✓ 使い方

- ・日程調整を作成
- ・URLを各店舗にメールし、回答を依頼
- ・名前、日にち候補は回答せず、コメント欄に売上を入力
- ・集まった回答を集計し、商店街の売上を把握



イベント新規作成

【実験】3月上半報告

イベント編集

回答者数 2人 あなたが幹事のイベントです

イラスト ON OFF

メモ

- ・今月の売り上げを、コメント欄に記入して報告してください。
- ・※「名前」欄は空欄にしてください。
- ・※「日にち候補」の回答は、どの回答でも構いません。
- ・※「コメント」欄に今月の売上を記入してください。

日にち候補

出欠表をCSVでダウンロード

※各日の出欠状況を変更するには名前のリンクをクリックしてください。

日程	○	△	×	名無し	名無し
3/31(日) 19:00~	1人	0人	1人	○	×
コメント				800,000,000	1,847,000

出欠を入力する

名前

絵文字は使用できません。

日にち候補

3/31(日) 19:00~

コメント

847,184,900

入力する

工夫例③ 「Googleフォーム」の活用

- Googleがネット上で提供するGoogleフォームを活用し、売上高を把握。設定によって無記名と記名が選択可能で、店舗の希望に沿った対応が可能。作成したGoogleフォームのアドレスを各店舗に配布し、そのアドレスにアクセスして売上を入力。スマホからの操作が可能。

✓ メリット

- ・個店名を特定する必要が無い
- ・投票数によって店舗数の把握が可能
- ・投票結果はスプレッドシート（エクセル）で自動集計

✓ デメリット

- ・誰が投票したのか、誰が未投票なのかわからない
- ・Googleアカウントが必要

✓ 使い方

- ・Googleアカウントを取得
- ・Googleフォームで売上入力フォームを作成
- ・各店舗にフォームのURLを配布
- ・各店舗にて入力
- ・入力された売上高を集計

3月の売上報告お願いします

*必須

今月の売上額を入力してください*

3948000

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約

Google フォーム

工夫例③ 「One Drive」を活用したエクセル共有

- 無料クラウドサーバーのOne Driveにエクセルファイルを設置し、そこに各店舗から入力していただくことで売上を把握。1つアカウントを作成し、それを共有して作業することで、実際に入力した者の匿名性を確保。

※One drive以外の共有サーバーでも可能です。

✓ メリット

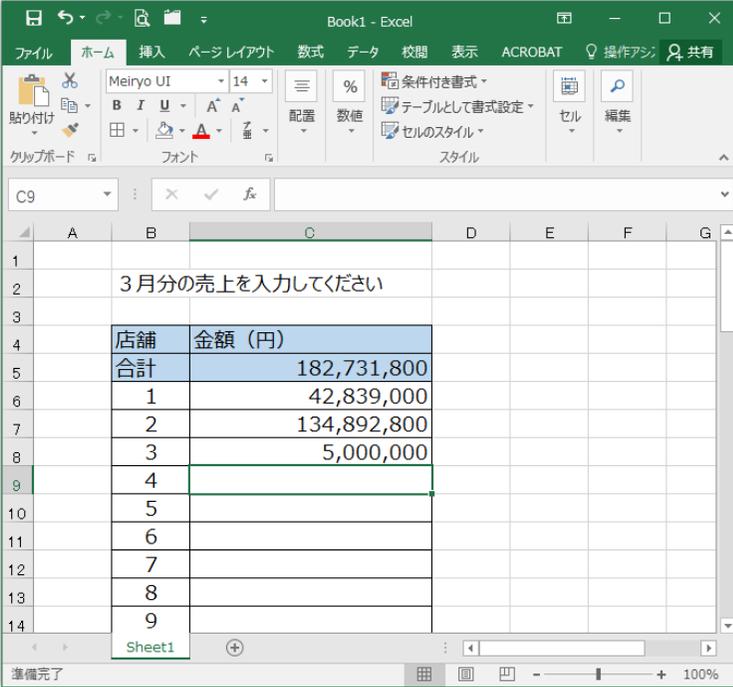
- 個店名を特定する必要がない
- 入力された売上の個数により、報告した店舗数の把握が可能
- 集計作業はエクセルで可能。

✓ デメリット

- 匿名性があるとはいえ、各店舗が他店舗の売上を閲覧することが可能
- 誰が入力したのか、誰が未入力なのかわからない

✓ 使い方

- hot mailアカウントを取得
- One driveのフォルダ内に入力用のエクセルを設置
- 各店舗にエクセルのURLを配布
- 各店舗にて入力
- 入力された売上を集計



The screenshot shows an Excel spreadsheet titled 'Book1 - Excel'. The spreadsheet has a header row with columns A through G. Row 2 contains the text '3月分の売上を入力してください'. Row 3 is empty. Row 4 has a header row with '店舗' (Store) in column B and '金額 (円)' (Amount in Yen) in column C. Row 5 shows a total for '合計' (Total) with a value of 182,731,800 in column C. Rows 6, 7, and 8 show individual store sales for stores 1, 2, and 3, with values of 42,839,000, 134,892,800, and 5,000,000 respectively. Rows 9, 10, 11, 12, 13, and 14 are empty.

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2			3月分の売上を入力してください				
3							
4		店舗	金額 (円)				
5		合計	182,731,800				
6		1	42,839,000				
7		2	134,892,800				
8		3	5,000,000				
9		4					
10		5					
11		6					
12		7					
13		8					
14		9					